

ゲンジとヘイケの違い、飼育法…

# ホタル学習に参考書

## 300部、富屋小などに寄贈

### 宇都宮の富屋西部愛護会

【宇都宮】ホタルの里づくりを進める富屋西部ホタル愛護会（入江利長会長）は21日までに、小学生向けのホタル学習参考資料「ホタルはみんなの友だち」を300部作製し、地元の富屋小などに配布した。ゲンジホタルとヘイケホタルの見分け方や飼育の仕方などを掲載。ホタルと農村環境の大切さを学べる一冊に仕上げた。（岩村由紀乃）

徳次郎町の西部に位置する富屋西部地区では、ほ場整備により農作業が効率的に行えるようになった一方、水生昆虫や魚などの生

息環境が悪化した。このため、昔のようにホタルが飛び交う豊かな里づくりを進めようと2007年、地域住民らが結集し同愛護会を発足させた。

年目を迎え、子どもたちに目を迎えて、子どもたちにとって理解を深めてもらおうと、参考テキストを作ることにした。資料は「ホタルの里をつくらう」「ホタルを育てよう」「田んぼまわりの生きものを大切にしよう」など五つの章で構成。第2章「ホタルのことを知ろう」ではゲンジホタルとヘイケホタルが育つ環境や、背中模様や飛び方、光り方の違いなどを解説。卵から幼虫、さなぎ、成虫時代の体の特徴や生態などを示した。第3章「ホタルを育てよ



富屋西部ホタル愛護会が作製した「ホタルはみんなの友だち」

これまで、ホタル保全地の形成やホタルの飼育に取り組みとともに、総合学習で地域について学ぶ小学3年生を中心に、子どもたちの活動を支援。ホタルの飼育や幼虫の放流などを一緒に行ってきた。発足から10

う」では餌となるカワニナの特徴や養殖の仕方、水管理の注意点などを載せた。いずれも写真や図表などをふんだんに採り入れ、分かりやすく親しみやすく説明している。

編集に携わった池田貞夫事務局長（69）は「この資料を参考に、ホタルについてさらに楽しく学んでもらえれば」と話している。A4判フルカラーの50部。問池田事務局長028・6655・5135。